

山形県経済動向月例報告

(令和3年1月の経済指標を中心として)

令和3年3月12日

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

個人消費は、感染症の影響により、サービス消費は厳しい状況が続いているものの、総じてみれば着実に持ち直している。

鉱工業生産は、感染症の影響が続いているものの、持ち直している。

雇用情勢は、感染症の影響により、一部で弱い動きが続いているものの、総じてみれば持ち直しの動きがみられる。

目次

	ページ
I 山形県の経済動向	1
II 全国の経済動向	3
III 東北の経済動向	3
IV 各種経済指標	
第1-1表 百貨店・スーパー（2業態）販売額、6業態合計販売額	4
第1-2表 コンビニエンスストア等4業態販売額	5
第2表 新車登録届出数	6
第3表 新設住宅着工戸数	7
第4表 鉱工業生産・在庫・出荷指数	8
第5表 山形県主要業種別生産指数	9
第6表 山形県主要業種別在庫指数	10
第7表 新規・有効求人倍率	11
第8表 賃金・労働時間・雇用指数	12
第9表 企業倒産	13
第10表 消費者物価指数	14
第11表 公共工事請負金額	15
(参考) 山形県その他の経済指標	16
全国その他の経済指標	17

利用上の注意

- ・ 山形県経済動向月例報告は、各種経済指標をもとに、本県経済の状況をまとめたものです。
- ・ 数字の単位未満は、原則として四捨五入しています。
- ・ 指標の中には速報値を使用しているものがあり、翌月に確定値に遡及して変更する場合があります。また、季節調整等により数値が改定される場合や公表数値が不定期に訂正される場合があります。
- ・ 各種経済指標は、官公庁、団体、会社等の業務資料及び当該機関の刊行した統計資料等によるものです。
- ・ この報告の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.yamagata.jp>

(ホーム > 県政情報 > 山形県の紹介 > 統計情報・オープンデータ > 経済動向 > 経済動向月例報告)





- ・ この報告の内容についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

山形県みらい企画創造部統計企画課政策統計担当

TEL 023-630-2180 FAX 023-630-2185

先月との比較

	2月	判断の 変化方向※	3月
総括判断	本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。		本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。
個人消費	個人消費は、感染症の影響により、サービス消費を中心に厳しい状況が続いているものの、総じてみれば持ち直している。		個人消費は、感染症の影響により、サービス消費は厳しい状況が続いているものの、総じてみれば着実に持ち直している。
鉱工業生産	鉱工業生産は、感染症の影響が続いているものの、持ち直している。		(同じ)
雇用情勢	雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きが続いている。		雇用情勢は、感染症の影響により、一部で弱い動きが続いているものの、総じてみれば持ち直しの動きがみられる。

※矢印は基本的な傾向の変化を表しています。

I 山形県の経済動向

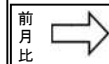
概況

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

判断の変化方向



判断の変化方向



◎ 個人消費 … 感染症の影響により、サービス消費は厳しい状況が続いているものの、総じてみれば着実に持ち直している。

○ 百貨店・スーパー（2業態）販売額は、全店舗ベースでは3か月ぶりに前年を上回り、既存店ベースでは4か月連続で前年を上回った。また、コンビニエンスストア等4業態合計販売額は、4か月連続で前年を上回った。新車登録届出台数は、4か月連続で前年を上回った。

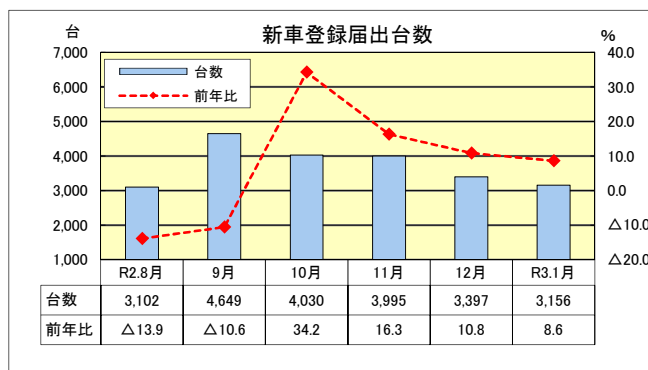
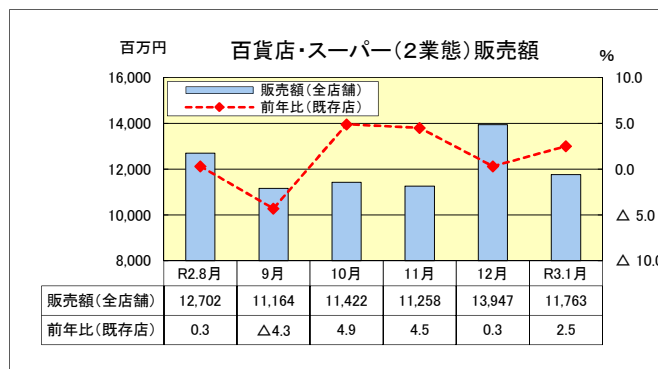
- 百貨店・スーパー（2業態）販売額
R3.1月（全店舗） 11,763百万円
前年比（全店舗） 0.2%
（既存店） 2.5%
- コンビニエンスストア等4業態合計販売額
R3.1月（全店舗） 17,200百万円
前年比（全店舗） 4.7%

（参考）

6業態合計販売額は、4か月連続で前年を上回った。（第1-1表参照）

R3.1月（全店舗） 28,963百万円
前年比（全店舗） 2.8%

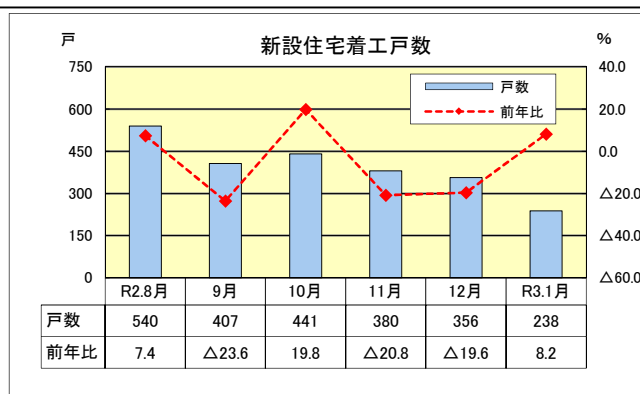
- 乗用車（軽を含む）の新車登録届出台数
R3.1月 3,156台（前年比 8.6%）
車種別
普通乗用車 842台（前年比 17.9%）
小型乗用車 758台（前年比 △7.2%）
軽自動車 1,556台（前年比 13.1%）



○ 住宅建設 … 前年の水準を上回った。

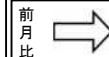
○ 住宅建設は、貸家及び分譲住宅は減少したが、持家が増加したため、全体では3か月ぶりに前年の水準を上回った。

- 新設住宅着工戸数
R3.1月 総戸数 238戸（前年比 8.2%）
利用関係別（主なもの）
持家 130戸（前年比 23.8%）
貸家 63戸（前年比 △4.5%）
分譲住宅 45戸（前年比 △8.2%）



◎ 鉱工業生産 … 感染症の影響が続いているものの、持ち直している。

判断の変化方向

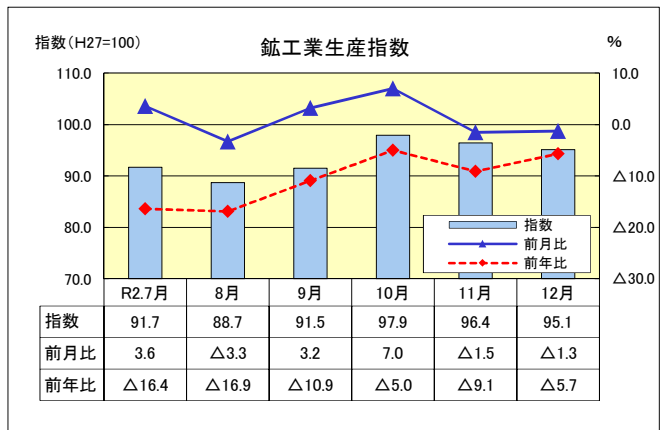


○ 鉱工業生産指数（季節調整済）は、情報通信機械工業や汎用・生産用・業務用機械工業などの生産が減少したことから、前月比で1.3%低下し、2か月連続の低下となった。また、前年比（原指数）では5.7%低下し、11か月連続の低下となった。

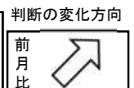
- 鉱工業生産指数（R2.12月）
季節調整済指数 95.1（前月比 △1.3%）
原指数 101.7（前年比 △5.7%）
業種別（前月比） 低下：情報通信機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業など12業種
上昇：電子部品・デバイス工業、化学工業など10業種

主な業種の生産指数

	前月比	前年比
電子部品・デバイス工業	108.1(5.7%、	1.9%)
汎用・生産用・業務用機械工業	74.5(△ 5.3%、△ 0.1%)	
食料品工業	91.3(△ 3.2%、△ 6.6%)	
情報通信機械工業	95.5(△12.6%、△41.9%)	
輸送機械工業	108.7(△ 5.1%、 3.0%)	
化学工業	131.3(9.8%、 22.7%)	
電気機械工業	100.8(2.9%、 0.8%)	

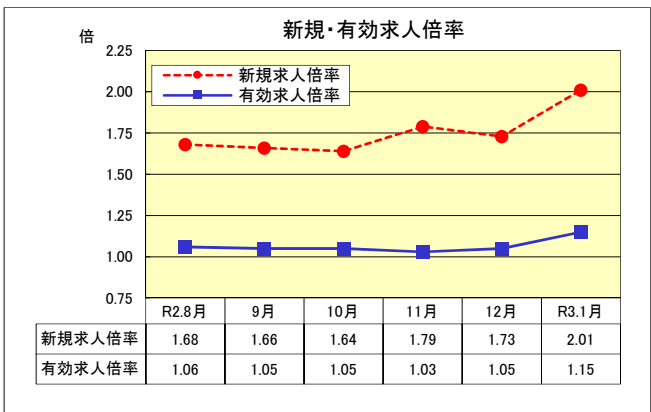


◎ 雇用情勢 … 感染症の影響により、一部で弱い動きが続いているものの、総じてみれば持ち直しの動きがみられる。



○ 有効求人倍率 (季節調整値) は、前月を0.10ポイント上回り1.15倍となった。

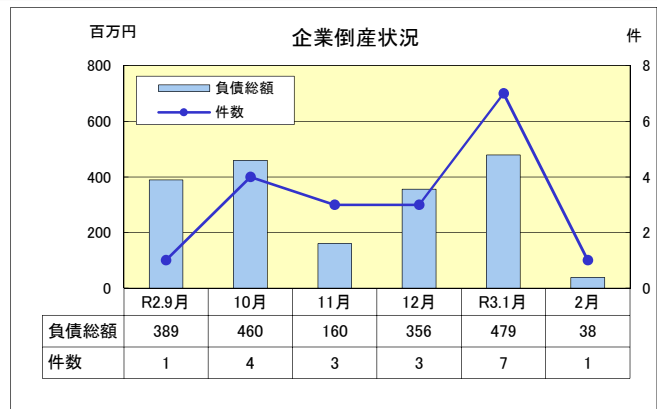
- ・雇用情勢 (R3.1月)
 - 有効求人倍率 1.15倍 (前月比 0.10ポイント)
 - 〃 (正社員) 0.93倍 (前年比 △0.14ポイント)
 - 新規求人倍率 2.01倍 (前月比 0.28ポイント)
 - 雇用保険受給者数 3,852人 (前年比 14.4%)



○ 企業倒産 … 件数及び負債総額ともに前年の水準を下回った。

○ 企業倒産は、件数及び負債総額ともに、前年の水準を下回った。

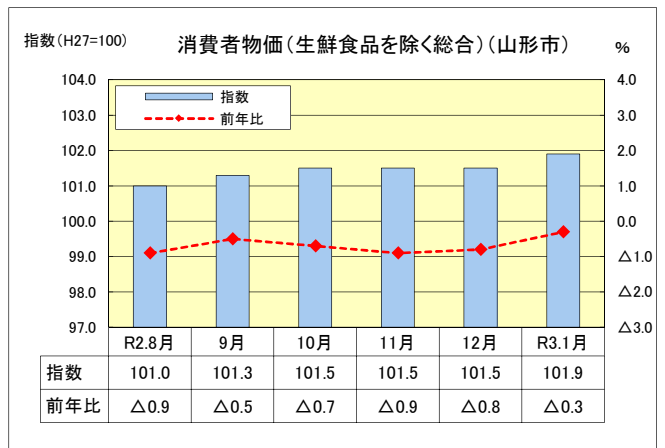
- ・企業倒産状況 (R3.2月、負債総額1千万円以上)
 - 件数 1件 (前年比 △50.0%)
 - 負債総額 3,800万円 (前年比 △46.5%)



○ 物 価 … 前年の水準を下回った。

○ 消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合) は、11か月連続で前年の水準を下回った。

- ・消費者物価指数 (R3.1月、山形市)
 - 総合指数 102.1 (前年比 △ 0.3%、前月比 0.8%)
 - 生鮮食品を除く総合指数 101.9 (前年比 △ 0.3%、前月比 0.4%)
 - 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数 102.2 (前年比 0.5%、前月比 0.4%)



(注) 前年比とは前年同月比のことである。

II 全国の経済動向（内閣府 月例経済報告 令和3年2月19日）

（我が国経済の基調判断）

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

- ・個人消費は、このところ弱含んでいる。
- ・設備投資は、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、増加している。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。企業の業況判断は、非製造業を中心にこのところ慎重さがみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

III 東北の経済動向（東北経済産業局 管内の経済動向 令和3年2月9日）

緩やかに持ち直している

- 鉱工業生産：持ち直している
- 個人消費：持ち直している
- 住宅着工：弱まっている
- 公共投資：このところ増加している
- 設備投資：弱含みとなっている
- 雇用：弱い動きとなっている
- 企業倒産：落ち着いた動きとなっている